

第4版の序

よくわかる脳MRIの第4版をお届けします。1998年の初版、2004年の第2版、2012年の第3版に続くもので、お陰様で初版から20年以上のロングセラーとなっています。この間の画像診断の臨床的広がり著しく、本書の分野でいえば、たとえば脳梗塞の診療は画像（拡散強調像やMRA）により根本的に変わったと思います。インターネットの普及による情報収集、最近ではDeep Learningによる人工知能の画像診断への応用など、画像診断を取り巻く環境も大いに変わっています。さらにわが国はMRIのavailabilityが高く撮像頻度も高いため、専門家以外が最初に判断する必要に迫られることも多くなっています。

一方、インターネットの情報は検証を要するものも多く、本書のように定評のあるロングセラーの教科書の意義は高いと考えます。特に画像はまだまだ検索が難しく、載せているWEBサイトも限られており、役割は高いと考えています。

初版から継承されている、見開きを基本として“調べたくなった時に画像がみられる”という特徴を今回も継承し、初心者にも調べやすい形態は継承したつもりです。版が重なるごとに増えるページは、知識が増えるのである程度致し方ないとしても、使いやすさも考慮しコンテンツは思い切って減らすこととし、他で容易に調べられる疾患の解説を削り、画像に特化しました。本書は以前の版で勉強していただいた放射線診断医、これから放射線科医や脳に係わる診療科を目指す専攻医・研修医・医学生、診療放射線技師、さらに脳MRIに係わることのある医療者、研究者に広く対応したものとなっていると考えます。

変わらぬご協力をいただいた共編者・著者、新たに加わっていただいた先生方とともに、出版業界の激変にもかかわらず初版から変わらず編集・校正を行っていただいた学研メディカル秀潤社 画像診断編集室の皆様に感謝いたします。

2020年3月

青木 茂樹
相田 典子
井田 正博
大場 洋